

1. Chor

Was frag ich nach der Welt
Und allen ihren Schätzen,
Wenn ich mich nur an dir,
Mein Jesu, kann ergötzen!
Dich hab ich einzig mir
Zur Wollust fürgestellt,
Du, du bist meine Ruh:
Was frag ich nach der Welt!

2. Arie (Baß)

Die Welt ist wie ein Rauch und Schatten,
Der bald verschwindet und vergeht,
Weil sie nur kurze Zeit besteht.
Wenn aber alles fällt und bricht,
Bleibt Jesus meine Zuversicht,
An dem sich meine Seele hält.
Darum: was frag ich nach der Welt

3. Choral und Rezitativ (Tenor)

**Die Welt sucht Ehr und Ruhm
Bei hoherhabnen Leuten.**
Ein Stolzer baut die prächtigsten Paläste,
er sucht das höchste Ehrenamt,
er kleidet sich aufs beste
in Purpur, Gold, in Silber, Seid und Samt.
Sein Name soll für allen
in jedem Teil der Welt erschallen.
Sein Hochmuts-Turm
soll durch die Luft
bis an die Wolken dringen,
er trachtet nur nach hohen Dingen
**Und denkt nicht einmal dran,
Wie bald doch diese gleiten.**
Oft bläset uns eine schale Luft
den stolzen Leib auf einmal in die Gruft,
und da verschwindet alle Pracht,
wormit der arme Erdenwurm
hier in der Welt so großen Staat gemacht.
Ach! solcher eitler Tand
wird weit von mir aus meiner Brust verbannt.
**Dies aber, was mein Herz
Vor anderm rühmlich hält,**
was Christen wahren Ruhm
und rechte Ehre gibet,
und was mein Geist,
der sich der Eitelkeit entreißt,
anstatt der Pracht und Hoffahrt liebe,
Ist Jesus nur allein,
und dieser solls auch ewig sein.
Gesetzt, daß mich die Welt

1. 合唱

私は、この世とその全ての財宝に
何を期待したら良いのでしょうか。
私のイエスよ、私はただあなただけを
喜びとしていたいのです。
あなただけを唯一の
悦びと思い定めたのですから。
あなたは、あなたは私の憩い。
私は、この世に何を期待したら良いのでしょうか！
[B..キンダーマン作詞のコラール(1664)第1節]

2. アリア (バス)

この世は、煙か影のようだ、
それはすぐに消え、すぐに過ぎ去る、
だからこの世は、ほんの短い時間存在するもの。
しかしすべてのものが倒れ、壊れても
イエスは、私の確信であり続ける、
この方に、私の魂はすがるので。
それなのに、私は世の中に何を期待するのだろう。

3. コラールとレツィタティーフ (テノール)

**この世は位の高い人々にすり寄って
栄光と誉れを求めている。** [同コラール第3節]
誇るものは贅沢な宮殿を建て
この上ない名誉な職を求める。
彼は上等な衣服で着飾る、
緋、金、銀、絹やピロードなどで。
自分の名前を人みなに先立って
この世の隅々にまで響かせようとする。
自分の高慢な鼻柱を
空中から
雲にまで届かせようとし、
立派なものばかりを得ようとするのだ。
**そして、自分が滑り落ちるのがどんなに
早いかなどは、思ってもみない**
しばしばわびしい風が吹き
奢り高ぶる体を一挙に墓場へと運び、
あの哀れな地上の虫けらが
この世で大いに見せびらかしていた
すべての栄華は消え去るのだ。
ああ！このような虚しいがらくたは
私の心から、遠くへと追放されるのだ。
**しかし私の心が
何よりも誉れとするものがある。**
それは、キリスト者に真の誉れと
ふさわしい栄光を与えるもの、
それは、私の霊が
虚栄心からはなれて
栄華と高慢の代わりに愛するもの、
それはただ、イエスだけなのだ。
イエスが永久に、そのようであり続けますように。
仮に、この世が私を

darum vor töricht hält:

Was frag ich nach der Welt!

4. Arie (Alt)

Betörte Welt, betörte Welt!
Auch dein Reichtum, Gut und Geld
Ist Betrug und falscher Schein.
Du magst den eitlen Mammon zählen,
Ich will davor mir Jesum wählen;
Jesus, Jesus soll allein
Meiner Seelen Reichtum sein.
Betörte Welt, betörte Welt!

5. Choral und Rezitativ (Baß)

Die Welt bekümmert sich.

Was muß doch wohl der Kummer sein?
O Torheit! dieses macht ihr Pein:

Im Fall sie wird verachtet.

Welt, schäme dich!
Gott hat dich ja so sehr geliebet,
daß er sein eingebornes Kind
vor deine Sünd
zur größten Schmach um deine Ehre gibet,
und du willst nicht um Jesu willen leiden?
Die Traurigkeit der Welt ist niemals größer,

**Als wenn man ihr mit List
Nach ihren Ehren trachtet.**

Es ist ja besser,

**Ich trage Christi Schmach,
Solang es ihm gefällt.**

Es ist ja nur ein Leiden dieser Zeit,
ich weiß gewiß, daß mich die Ewigkeit
dafür mit Preis und Ehren krönet;
ob mich die Welt
verspottet und verhöhnet,
ob sie mich gleich verächtlich halt,

**Wenn mich mein Jesus ehrt:
Was frag ich nach der Welt!**

6. Arie (Tenor)

Die Welt kann ihre Lust und Freud,
Das Blendwerk schnöder Eitelkeit,
Nicht hoch genug erhöhen.
Sie wühlt, nur gelben Kot zu finden,
Gleich einem Maulwurf in den Gründen
Und läßt dafür den Himmel stehen.

7. Arie (Sopran)

Es halt es mit der blinden Welt,
Wer nichts auf seine Seele hält,
Mir ekelt vor der Erden.
Ich will nur meinen Jesum lieben
Und mich in Buß und Glauben üben,
So kann ich reich und selig werden.

それゆえに愚かだとみなそうとも。

私は世の中に何を期待するのだ(何も期待しない)!

4. アリア (アルト)

誘惑された世よ、(マモンに)誘惑された世よ!
お前の富も、宝も財貨も、
それらはみな欺瞞であり、偽りのみせかけなのだ。
お前は、虚しいマモン(富と強欲の悪魔)を数えるがよい。
私は代わりに、イエスを選ぼう。
イエスを、イエスだけを
私の魂の富とするのだ。
誘惑された世よ、誘惑された世よ!

5. コラールとレツィタティーフ (バス)

思い悩む世の中よ、 [同コラール第5節]

だが、そもそもその心痛は何にからくるのだろうか?
なんと愚かなことだ! その心痛が苦しみなのか、
場合によっては世が軽蔑されるのだ。

世よ、恥じるがいい。
神はお前をこれほど愛するが故に、
そのひとり子を、与えてくださったのだ。
大きな辱めによって、
お前を罪から栄光に導くために。
それなのにあなたは、イエスのために苦しむ気はないのか?
世の悲しみは決して大きくは無いのだ、

**人が策略をもって自分のために
榮譽を得ようとするに比べれば、**

そうした方がいい、

**私はキリストの辱めと一緒に感じるのだ、
それが彼の気に入るならば、**

それは今の世での苦難にすぎない。
私は良く知っている、永遠が私に
賞賛と誉れを授けてくれることを。
たとえ世が私を
嘲り、嘲笑しても、
たとえ私が軽蔑されるとしても……

**イエスが私を認めてくれるのならば、
私は何を世の中に期待するのか(何も期待しない)!**

6. アリア (テノール)

世は自分の逸楽と喜び、
醜い虚栄のまやかしを
求めて尽きることはない。
世は、黄色の糞(黄金)を見つけようと
もぐらのように地中を掘り、
その代わりに、天のことなど顧みもしないのだ。

7. アリア (ソプラノ)

お前は目がくらんだこの世を好きになれればいい、
天のことなど気にもしない者よ。
私はそうではない、この世など大嫌いだ。
私はイエスだけを愛し
悔い改めと信仰に励もう。
そうすれば、心豊かに、幸福になれるのだから。

8. Choral

Was frag ich nach der Welt!
Im Hui muß sie verschwinden,
Ihr Ansehn kann durchaus
Den blassen Tod nicht binden.
Die Güter müssen fort,
Und alle Lust verfällt;
Bleibt Jesus nur bei mir:
Was frag ich nach der Welt!

Was frag ich nach der Welt!
Mein Jesus ist mein Leben,
Mein Schatz, mein Eigentum
Dem ich mich ganz ergeben,
Mein ganzes Himmelreich,
Und was mir sonst gefällt.
Drum sag ich noch einmal:
Was frag ich nach der Welt!

8. コラール

私は何をこの世に期待するのか！
それは、すぐに消え去るもの。
この世の見かけ(富や財産)は青ざめた死を
遠ざけておくことは絶対出来ないのだ。
財産は失われ、
全ての逸楽は衰えなければならない。
イエスさえ私のそばに居続けるのなら、
私は何をこの世に期待するのか(何も期待しない)！

私は何をこの世に期待するのか！
イエスは、私の命。
私の宝、私の所有物、
私がすべてをゆだねるもの。
私の完璧な天国、
いつも私が喜ぶもの。
だから私はもう一度言うのだ、
私は何を世の中に期待するのか(何も期待しない)！と。

[同コラール第7,8節]